

☆学習課題：産業や科学技術の発展にともなって、どのような人権上の課題や権利が主張されたのか。

☆学習活動

教科書 P60～61

STEP①：教科書の内容を参考に、表を完成させなさい。

新しい人権：産業や科学技術の発展にともなって日本国憲法には直接的に規定されていない権利。	
※日本国憲法第13条「生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利」（幸福追求権）を根拠としている	
（ 環境 ） 権	良好な環境を求める権利
（ 自己決定権 ） 権	個人が自分の生き方や生活の仕方について自由に決定する権利

STEP②：教科書の内容や資料1～4を参考に、なぜ環境権が主張されるようになったのか書きなさい。

高度経済成長期に、水俣病をはじめとする公害が深刻化し、経済成長が優先されてしまった結果、それともない環境汚染の悪影響が軽視されてしまったため、環境権が主張されるようになった。

STEP③：資料5は、どのような権利を保障し、何のために側面を階段状にしているのか書きなさい。

住民の日当たりを確保する日照権を保障するために、マンションの側面が階段状になっている。

STEP④：資料6のようなカードを何というか書きなさい。（ 臓器提供意思表示カード ）

STEP⑤：公民にアクセスを見て、尊厳死を認める法律を定めることについて、賛成か反対かの立場を明らかにしながら、自分の意見を書きなさい。

※自分の意見を理由や根拠を示して、具体的に表現すること。

☆まとめ

----- ----- ----- -----

☆振り返り

----- ----- -----

★最後に語句プリント（別紙）で内容をマスターしましょう★